

## 令和3年(2021年)度 地域連携活動報告書

連携先名称：世田谷区教育委員会

協定締結日：2005年2月22日

活動状況：継続中

連携先窓口：生涯学習・地域学校連携課 田畑和国様

活動資金：自治体予算

担当教員(所属)：野口敬夫(産学官・地域連携センター)

活動体制(単位)：キャンパス

関連教員(所属)：武田晃治(教職課程)、野口智弘(応用生物科学部)、  
大林宏也(森林総合科学科)

活動目的：東京農業大学と世田谷区教育委員会が包括的な連携のもと、相互の知的・人的資源等の交流・活用を図り、教育、文化等の分野において双方の発展と充実及び世田谷区立幼稚園及び世田谷区立小・中学校の活性化に寄与することを目的とする。

活動内容・成果：公募により選出された世田谷区立小学校児童または世田谷区内在住の小学生を対象として、本学教員による講座を3回実施した。

- (1)【武田晃治】生き物講座 定員20名 8月5日(木)13:00~15:00  
講座名「生き物の色の意味を探る」対面にて実施  
～アメリカザリガニから始める環境&科学教育SDGs～  
生き物の色を題材として見た目の色からミクロな視点でその意味を考える。



(2) 【野口智弘】 食品講座 定員 40 名 10 月 3 日(日) 13 : 00~15 : 00  
講座名「パンはなぜ膨らむのか？」オンラインにて実施  
パン作りに小麦粉と酵母がなぜ必要なのか、その秘密を解明する。

(3) 【大林宏也】 顕微鏡講座 定員 20 名 10 月 24 日(日)10 : 30~12 ; 30  
講座名「顕微鏡で植物観察」対面にて実施  
樹木の細胞を光学顕微鏡で観察する実習。観察用の試料(プレパラート)を自分で作り、一人 1 台の顕微鏡で観察する実習。

課題・改善点：

倍率何十倍もの多くの応募をいただき、農大の講座は年々期待が高まっている。  
その中でも地域・社会貢献を尽くすために協力を継続していきたい。